教育委員会
指導・研修担当課　御中
2003／2／15 No.60　発行
無断転載・コピー禁止

教職研修資料

教育行政版

(発行) 教育開発情報センター
東京都文京区本郷2-15-13
TEL（03）3815　7066
http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp

■指導行政のポイント

6割を超えた“習熟度別授業”

菱村　幸彦

さきごろ，文部科学省が発表した教育課程編成状況調査によると，小学校で 63.1％，中学校で 64.7％が習熟度別指導を実施している。

個人差の無視こそ非教育的

戦後の教育界では平等主義思想が強く，ちょっとでも児童・生徒を区別すると，すぐ差別教育・選別教育と批判する空気があった。そうしたなかで，学力に応じたクラス分けはタブーであった。

そのタブーに挑戦したのが，いわゆる「四六答申」である。昭和 46 年の中教審答申「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策」は，グループ別指導を提言し，その趣旨についてこう解説した。

《グループ別指導は，生徒を一定の尺度で優劣に区別して，それぞれに水準を異にする教育を与えることであると誤解されがちであったため，教育的でないと反発されてきた。しかし，生徒の個人差を無視して画一的な指導だけですますことは，実質的にみて，はるかに非教育的であろう。》

この提言を学習指導要領に取り入れたのが，昭和 53 年版の高校学習指導要領である。当時，私は文部省の高校教育課長の職にあり，学習指導要領改訂の責任者だった。中教審答申を取り入れるにあたって，できるだけ反発を少なくするため，「能力別」という言葉を避け，「習熟度別」というソフトな言葉を用いた。

それでも，やはり反発は強かった。習熟度別学級編成は，教育に能力主義を持ち込むもので，差別・選別教育である，という批判が盛んに行われた。

しかし，進学率９割という全入的状況のもとで，能力・適性・進路，興味関心など多様な生徒を抱えた高校現場では，現実問題として習熟度別指導の導入は不可避であった。で，その後，高校では習熟度別学級編成が着実に普及していった。

高校の次は中学校である。文科省は，平成元年版の中学校学習指導要領に習熟度別指導の導入を盛り込んだ。ただ，中学校では，習熟度別学級編成という表現は避け，「習熟の程度に応じた指導」という控えめな表現にとどめている。

学力低下批判を背景に急増

このときは，もはや高校に導入したときのような激しい批判はあまりなかった。批判は少なかったが，高校の場合とは違い，中学校現場の習熟度別指導に対する取組みは，いま一つ積極的ではなかった。

それが，ここに来て，中学校のみならず小学校でも習熟度別指導が急増している。急増の背景には，ここ数年の学力低下批判があると思う。学力低下批判に対応するため，文科省は「学びのすすめ」で改めて習熟度別指導を推奨した。教育委員会や学校も，学力向上対策として習熟度別指導の効用に注目している。

加えて，平成 13 年に「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正され，少人数指導のための教員配置が制度化された。こうした条件整備が習熟度別指導の普及にドライブをかけていることは間違いない。

日教組の教育研究集会にみるように，まだ「習熟度別指導は子どもに差別感，疎外感を生む」といった硬直した考え方から抜け出せない教師もいる。しかし，生徒の個人差を無視した画一的な指導こそ非教育的であることを改めて指摘したい。

（ひしむら・ゆきひこ＝公立学校共済組合理事長）

●新刊ご案内●　最新刊　好評発売中！　教育開発研究所刊
★領域・項目ごとに添付した「自己点検・自己評価表」から自校の評価表を作成できる！
【編集】高階玲治（ベネッセ教育総研東京所長）／A5 判 216 頁・定価 2310 円
『学校の自己点検・自己評価の進め方』
■研修誌・図書の小社への直接のお申し込みは無料 FAX 0120-462-488 をご利用ください（24 時間受付・即日発送）